

姫路校外学習で 『ひょうごの匠』に学ぶ^①ものづくり太学校

1月28日（火）、姫路校外学習でものづくり太学校を訪れました。当日欠席もありましたが、それでも268名の太学校。初めての公共交通機関を利用した移動スタートでした。ものづくり太学校の講堂に集合してから開講式では緊張した40回生のみんなの様子が印象的でした。『目と耳と心で聴く』40回生のみんなの姿を見たスタッフの方々から、「大久保北中学校の生徒さんは素晴らしいですね」と声をかけていただきました。

実習中は普段とは違うみんなの顔を見ることができました。ひょっとしたら、この中の誰かは、この日の体験がきっかけになって『ものづくり』の道に進むかもしれない。そんな予感がふとよぎりました。たとえ『ものづくり』の道に進まなくても、働く大人の世界を見たことはこれからの学びに生きてくるはずです。

課題もありました。しおりに書いてあることを読まずに周りの仲間に頼り切ってしまっていた人、大久保駅での解散後に気が緩んでしまった人、……。この校外学習は3年生での修学旅行に向けた取り組みの一環です。ほとんどの人が高い意識を持って行動していたとしても、わずかなほころびが太学校に迷惑をかけることにつながります。普段の生活から『みんなが先 自分が後』の意識を持ちましょう。これは、自分を大切にしないということではありません。クラスや学年が過ぎやすい集団になれば、必ずあなた自身も伸びる。だからこそ自分が太学校の一員として何ができるかを考えて行動しましょう。太学校の一員として責任を果たしましょう。

ナカノさんからのメッセージ

開講式では、西洋調理技能士会のナカノさんが講師代表のお話をしてくださいました。40回生のみなさんだけではなく、周りで話を聴かせてもらった先生たちにとっても、身の引き締まる有り難いお話でした。

①あいさつをしよう

あいさつは相手に対して自分の心をひらくものです。相手がするのを待つのではなく、自分から進んであいさつをしましょう。あなたが心をひらけば、相手もここをひらいてくれます。

②掃除・整理整頓をしよう

身の回りの掃除や整理整頓をすると、モノが片付くだけではなく頭の中もスッキリ整理されます。モノが片付いて頭の中が整理されると、仕事や作業の段取りもよくなります。



③本を読む

本を読むことで自分の思いを表現する力が伸びます。また相手が言っていることも、よりよくわかるようになります。周りの人とコミュニケーションがとれれば、いい仕事ができます。



校外学習にプラス1(ワン)

『北中の匠』に学ぶ

あなたは『北中の匠』を知っていますか？ 私たちが通う大久保北中学校にもさまざまな分野の専門家「匠」がいます。今回は3年生の「匠」、〇〇〇〇さんの作品を紹介します。（体育大会マスゲームでのアナウンスや文化祭展示でも活躍していた、あの〇〇先輩です。）

お世話になった方とご家族に贈る『布絵本』（赤ちゃんのおもちゃ）。ものづくりは創造力（新しいモノを創り出す力）と想像力（使う人、サービスを受ける人のことを考える力）。贈られた人の笑顔を思い浮かべて。家庭科で培った技術と探究心、そして感謝の気持ちがこもった世界にひとつしかない『たからもの』。ブラヴォー、マエストロ！

